



# 越部小・だより



## 本物は続く、続けると本物になる 学力向上と非認知能力の育成

6月に学校再開してから半年が経過しようとしています。依然、新型コロナウイルス感染症患者数は減少せず、感染症予防対策を行っての新しい生活様式を工夫しながら、子どもたちの学びを止めることのないよう授業、体験活動、行事等を行ってきました。

ご家庭においてもお子様の日々の健康観察、行事へのご理解・ご協力いただき、子どもたちを温かく見守っていただいていますことに感謝申し上げます。

子どもたちの学びの指針となる新学習指導要領では、大きく変わっていく世の中に対応するために、子どもたちに身につけさせたい資質や能力の3つの柱を大切にしています。

- ① 知識・技能(各教科で身に付けたい基礎基本)
- ② 思考力・判断力・表現力等  
(実際の場面で活用する力、知識・技能の活用)
- ③ 学びに向かう力・人間性

中でも3つ目の力については、教科書とは直接関係のないようですが、①と②を支え、自分の学びをコントロールする重要な力だと言われています。

また、このような力を「非認知能力」「社会情動的スキル」とも言い、具体的には、下記のような力になります。

- ・自分を見つめ、振り返る力
- ・意欲をもってチャレンジしようとする力(行動力)
- ・最後までやりとげる力(持久力・忍耐力)
- ・自分の行動をコントロールする力(自制力)
- ・みんなと折り合いをつける力(協調性・対応力)
- ・思いやり・やさしさ

今までの教育や子育てで大切にされてきた、数値では測れない力がAI時代を生き抜くために見直されているのです。では、どうすれば子どもたちの非認知能力を伸ばすことができるのでしょうか。その一つは、「結果を褒めるのではなく、努力や取り組んできたことをしっかりと認め、褒めてやること」だと言われています。

学校では、2学期もまとめの時期に入っています。子どもたちの学びを振り返り、確かな力がついたかしっかりと振り返り、授業方法や、指導の改善に生かすとともに、子どもたちの頑張ったことをしっかりと認め、非認知能力の向上にも努めます。

## 温かい拍手をありがとうございました。 運動会・マラソン大会 with コロナ

コロナ禍の中、子どもたちの学びや成長に大きく関わる学校行事についても中止、見直しが余儀なくされました。しかし、各行事において、子どもたちのコロナウイルス感染への対応を最優先に方法、内容を工夫検討し、保護者、地域の皆様のご理解、ご協力のおかげをもちまして、無事実施できました。

子どもたちは、行事を通して、目標・めあてに向かって粘り強くやり遂げようとする力が伸び、仲間と協力し、認め合う心情が育ってくれたかと感じています。

ご支援、ご協力ありがとうございました。



[1年生・6年生 初めて、最後のマラソン大会]

### 【12月の行事予定】

1	火	ALT
2	水	マラソン大会・がんばりタイム
3	木	なかよし学級⑨ 代表委員会
4	金	福祉体験4年 けん玉検定5年
6	日	PTAリサイクル活動
7	月	全校朝会 ALT けん玉検定5年 リコーダー講習会
8	火	「人間関係づくりプログラム」6年 けん玉検定4年 学校評議員会
9	水	けん玉検定3年 がんばりタイム
10	木	クラブ活動⑤ けん玉検定2年 ストーリーテリング3・6年
11	金	けん玉検定1年 ストーリーテリング4年
13	日	PTAリサイクル活動(予備日)
14	月	
15	火	安全の日 ALT
16	水	
17	木	
18	金	大掃除
21	月	個別懇談会①
22	火	個別懇談会② 給食終了
23	水	地区児童会
24	木	2学期終業式
25	金	冬季休業日開始